

しんきん全世界株式 インデックスファンド

追加型投信／内外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第2期(決算日2024年7月5日)

作成対象期間(2023年7月6日～2024年7月5日)

第2期末(2024年7月5日)	
基準価額	16,211円
純資産総額	13,521百万円
第2期	
騰落率	33.5%
分配金(税込み)合計	140円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん全世界株式インデックスファンド」は2024年7月5日に第2期の決算を行いました。

当ファンドは、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標とし、信託財産の成長を目指して運用を行っています。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド各種資料」において運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

<コールセンター> ☎ 0120-781812

(土日、休日を除く) 携帯電話からは03-5524-8181
9:00～17:00

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年7月6日～2024年7月5日)



期首：12,247円

期末：16,211円 (既払分配金(税込み)：140円)

騰落率：33.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、期首(2023年7月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- (注) ベンチマークは、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。詳細は14ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、親投資信託である「しんきん全世界株式インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期は、主にMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスが上昇したことや米ドル高円安の動きになったことを受けて、基準価額は上昇しました。当期の基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額変動要因

前期末基準価額			12,247円
要因	上場投資信託 (E T F)	キャピタル	2,368円
		インカム	227円
	為替		1,583円
	小計		4,178円
分配金			△140円
その他変動要因 (信託報酬含む)			△74円
当期末基準価額			16,211円

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは市場変動等による E T F 価格の上下動に伴う売買損益 (評価損益を含む)、インカムとは配当等による収益です。

<上昇要因>

- ・ハイテク株を中心に、企業決算が好調であったこと。
- ・米国経済のソフトランディング (経済の軟着陸) 期待が高まったこと。
- ・日銀が緩和的な金融政策を継続する姿勢を示したこと。
- ・米国における利下げ観測が高まったこと。

<下落要因>

- ・米国の格付会社が米国国債や米国の中堅銀行の格付を引き下げたこと。
- ・イスラエルとハマスの紛争が勃発し、中東情勢が悪化したこと。

1万口当たりの費用明細

(2023年7月6日～2024年7月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	62 (22) (37) (3)	0.456 (0.160) (0.275) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	11 (11)	0.084 (0.084)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	4 (3) (1) (0)	0.027 (0.022) (0.005) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	77	0.567	
期中の平均基準価額は、13,584円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

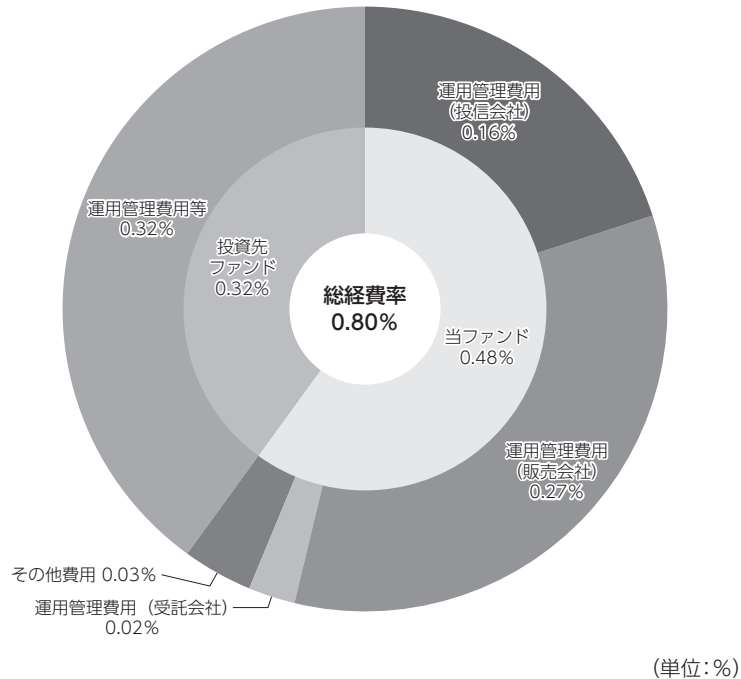
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものをみます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.80%です。



総経費率(①+②)	0.80
①当ファンドの費用の比率	0.48
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.32

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

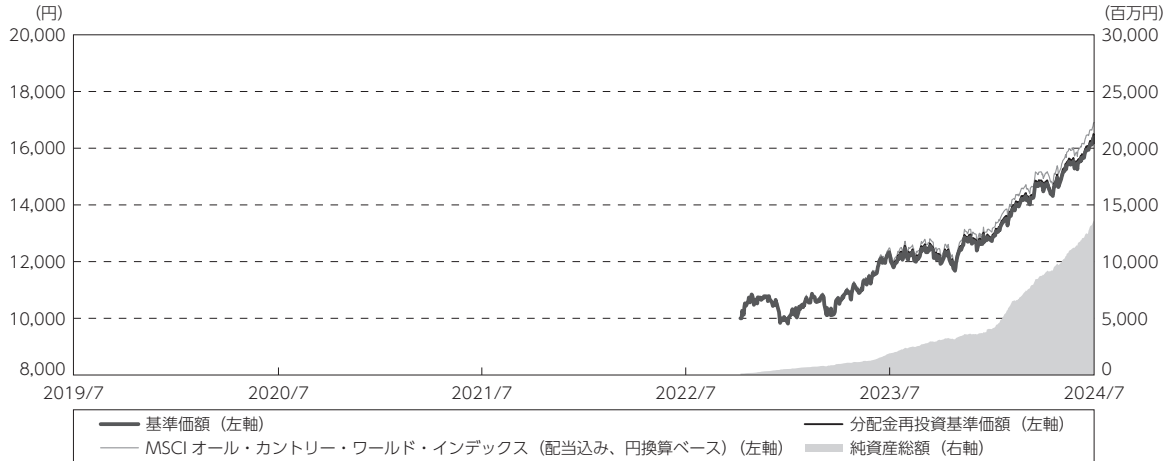
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年7月5日～2024年7月5日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 当ファンドの設定日は2022年10月12日です。

	2022年10月12日 設定日	2023年7月5日 決算日	2024年7月5日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,247	16,211
期間分配金合計(税込み) (円)	—	90	140
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	23.4	33.5
MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)騰落率 (%)	—	24.8	35.4
純資産総額 (百万円)	134	1,909	13,521

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2023年7月5日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) ベンチマークは、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。詳細は14ページをご参照ください。

投資環境

(2023年7月6日～2024年7月5日)

(外国株式市況)

外国株式市場は全体で見ると上昇しました。当期初は、米連邦準備制度理事会（F R B）による利上げ長期化観測が後退し、上昇しました。2023年8月から10月にかけては、米国の格付会社が米国国債や米国の中堅銀行の格付を引き下げたことや、中東情勢の緊迫化、米長期金利が5%程度の水準まで上昇したことなどが重しとなり、売りが優勢となりました。その後、11月に発表された米消費者物価指数（C P I）の伸びが鈍化し、米小売売上高が市場予想を上回ったことで、米国経済のソフトランディング期待が高まり、上昇基調の動きに転じました。年末にかけても、物価や労働市場の減速を示唆する米経済指標を受けて、早期利下げ期待が高まり、底堅く推移しました。2024年1月から3月にかけては、米インフレが鈍化したことによる、米国経済のソフトランディング期待の高まりや、米半導体大手のエヌビディアが予想を上回る決算を発表したことで、半導体関連企業を中心に、上昇基調の動きが継続しました。4月は、中東情勢の緊迫化や米長期金利の上昇を受けて、下落基調の動きに転じましたが、5月に入ると、好調な企業決算や、米国の利下げ観測が高まったことが支えとなり、買いが優勢となりました。その後は半導体需要の拡大への期待から、エヌビディアなどのハイテク株が株式市場をけん引し、当期末にかけて堅調に推移しました。

(国内株式市況)

国内株式市場は上昇しました。当期初から2023年8月までは、F R Bによる利上げ長期化懸念が和らぐ一方、中国経済の先行きに対する不安が高まったことや、7月の日銀金融政策決定会合で予想に反して金融政策の修正が決定されたことなどを背景に、一進一退の動きとなりました。9月から10月にかけては、イスラエルとハマスの紛争が勃発し、中東情勢が悪化したことや、米長期金利が上昇したことなどから、下落基調の動きとなりました。11月から12月にかけては、国内企業の7-9月期決算が好調であったことや、F R Bの金融引締め長期化観測の後退を受けた米長期金利の低下などを背景に、上昇基調の動きに転じました。2024年1月から2月にかけては、円安が進行したことや、国内企業への資本効率改善期待、米国経済のソフトランディング期待の高まりなどから堅調に推移しました。3月には、日銀が金融政策決定会合でマイナス金利解除などの大規模緩和の修正を行ったものの、緩和的な金融政策を継続する姿勢が示されたことも株価の押上げ要因となり、東証株価指数（T O P I X）は、2,800ポイントを突破しました。その後は、日米長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化懸念が重しとなるものの、米国の利下げ観測が高まったことや、6月下旬には米ドル円が160円台まで上昇したことなどが支えとなり、当期末にかけて堅調に推移しました。

(為替市況)

当期の米ドル円為替相場については、米ドルが上昇しました。

当期初から2023年10月にかけては、7月中旬に137円台前半まで下落する局面もありましたが、米長期金利が上昇する中、上昇基調の動きで推移しました。11月から12月にかけては、米国の金融引締めサイクルの終了観測が高まり、下落基調の動きに転じました。2024年1月から2月にかけては、米国の早期利下げ期待が後退し、米長期金利が上昇したことなどから、上昇基調の動きに転じ、2月中旬には150円台まで上昇しました。3月上旬には、米供給管理協会（I S M）非製造業景況感指数などの米経

済指標が市場予想比で下振れたことなどから、146円台半ばまで下落したものの、米インフレの高止まりを示唆するインフレ指標などを受けて、上昇基調の動きに転じました。その後も日米金利差などを背景に、上昇基調の動きが継続しました。

当期のユーロ円為替相場については、ユーロが上昇しました。

当期初から2023年10月にかけては、欧州中央銀行（ECB）が利上げを進める中、上昇基調の動きで推移しました。11月から12月にかけては、欧州圏におけるインフレ率の鈍化が進展したことや、日本におけるマイナス金利解除観測が高まったことなどを背景に、下落基調の動きに転じました。2024年1月から2月にかけては、米ドル円の上昇に加えて、ECBのラガルド総裁が賃金上昇を背景としたインフレの高止まりに対して警戒感を示したことなどから、上昇基調の動きに転じました。その後も、ECB高官が、利下げ開始後も継続的に利下げを行うとは限らないなどの発言をしたことや、米ドル円が上昇基調で推移したことなどを背景に、上昇基調の動きが継続しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2023年7月6日～2024年7月5日)

親投資信託である「しんきん全世界株式インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じ、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

●しんきん全世界株式インデックスマザーファンド

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指し、上場投資信託である「iシェアーズMSCIACWIETF」を主要投資対象として運用を行いました。

上場投資信託の組入比率は、高位の水準を保つように努めました。

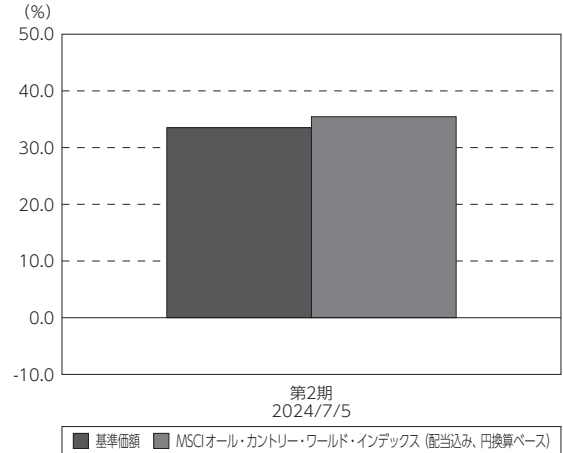
当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年7月6日～2024年7月5日)

当期の基準価額の騰落率（分配金込み）は+33.5%となり、同期間のベンチマークの騰落率である+35.4%を1.9%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因としては、信託報酬やマザーファンドにおけるコスト等が挙げられます。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。詳細は14ページをご参照ください。

分配金

(2023年7月6日～2024年7月5日)

当期の収益分配金については、経費控除後の配当等収益や期末の基準価額水準等を勘案して、1万口当たり140円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2023年7月6日～ 2024年7月5日
当期分配金	140
(対基準価額比率)	0.856%
当期の収益	140
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,210

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、親投資信託である「しんきん全世界株式インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じ、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。

●しんきん全世界株式インデックスマザーファンド

運用の基本方針に従い、主として上場投資信託である「iシェアーズ MSCI ACWI ETF」への投資を行い、実質的に日本を含む全世界の株式に投資を行い、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動することを目指します。

お知らせ

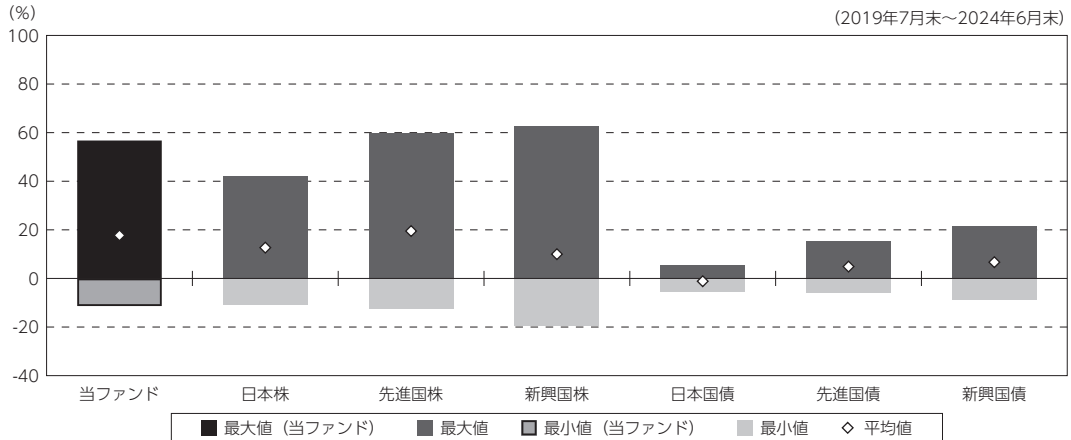
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型
信託期間	無期限
運用方針	<p>①主として「しんきん全世界株式インデックスマザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場している投資信託証券に投資し、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指します。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要投資対象	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行っています。
分配方針	<p>年1回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p>

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.8	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△ 11.4	△ 10.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	17.7	12.7	19.5	10.0	△ 1.2	4.9	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年7月から2024年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの設定日以前の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象インデックスを用いて算出しています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、14ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年7月5日現在)

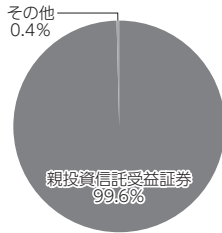
○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
しんきん全世界株式インデックスマザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

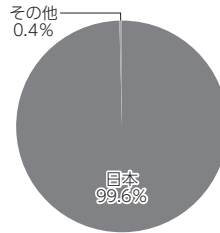
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

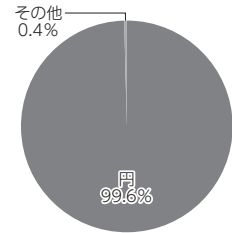
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

純資産等

項目	第2期末
	2024年7月5日
純資産総額	13,521,009,272円
受益権総口数	8,340,802,411口
1万口当たり基準価額	16,211円

(注) 期中における追加設定元本額は8,303,318,091円、同解約元本額は1,521,961,226円です。

組入上位ファンドの概要

しんきん全世界株式インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年7月6日～2024年7月5日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年7月6日～2024年7月5日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	12 (12)	0.084 (0.084)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)	0.022 (0.022) (0.000)
合計	15	0.106

期中の平均基準価額は、13,772円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

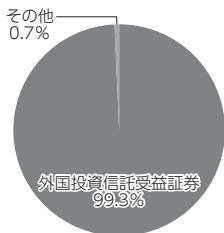
【組入上位銘柄】

(2024年7月5日現在)

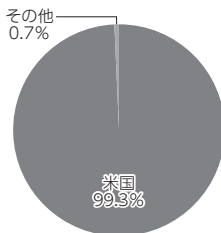
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ISHARES MSCI ACWI ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.3%
組入銘柄数	1銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

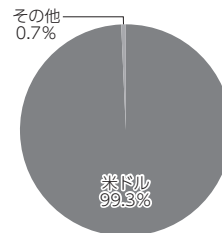
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

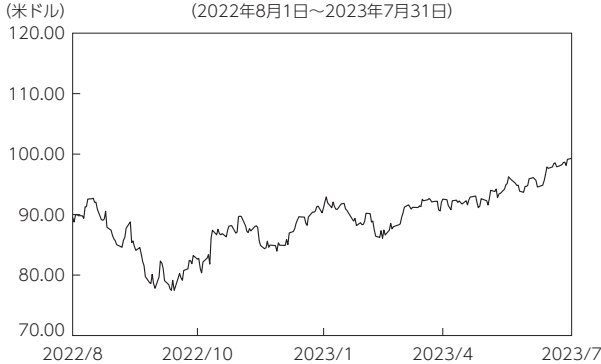
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<ご参考> iShares MSCI ACWI ETF

※ BlackRock Inc.作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

【1口当たり純資産価額の推移】

(2022年8月1日～2023年7月31日)



【費用比率】

(2022年8月1日～2023年7月31日)

項目	比率
エクス Pens レシオ	0.32 %

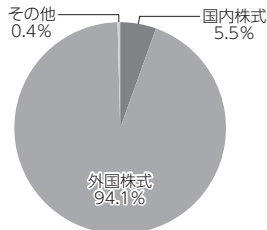
(注) エクス Pens レシオは、当期間中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

【組入上位10銘柄】

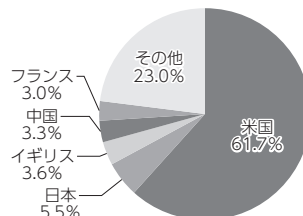
(2023年7月31日現在)

銘柄名	国(地域)	比率
1 APPLE INC	米国	4.7%
2 MICROSOFT CORP	米国	3.6%
3 AMAZON COM INC	米国	1.9%
4 NVIDIA CORP	米国	1.7%
5 ALPHABET INC CLASS A	米国	1.2%
6 TESLA INC	米国	1.2%
7 ALPHABET INC CLASS C	米国	1.1%
8 META PLATFORMS INC CLASS A	米国	1.1%
9 UNITEDHEALTH GROUP INC	米国	0.7%
10 JPMORGAN CHASE & CO	米国	0.7%
組入銘柄数		2,327銘柄

【資産別配分】



【国別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み）をもとに、委託会社が計算したものです。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国および新興国の株式で構成されています。また、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。